

経済指標ウォッチャー

米国耐久財受注 改善続くが不安材料も

依然として低水準の設備稼働率が設備投資改善を一服させるか

米国耐久財受注とは？

米国耐久財受注は、米国内における製造業メーカーの3年以上の使用に耐える耐久財の新規受注額を集計した指標で、米商務省が毎月下旬に先月分を発表。変動の大きい輸送設備を除いた耐久財受注は受注の基調を確認しやすい。航空機を除く非国防資本財の新規受注額を集計したコア資本財受注も企業の設備投資の先行指標として注目される。

米国耐久財受注は市場予想を上回る

米商務省が25日発表した10月の耐久財受注（季節調整済み）は前月比+1.3%と事前予想（同+0.8%）を上回る良好な結果となりました（図表1）。新型コロナウイルスの影響を受け、大幅マイナスとなった4月（同-18.3%）以降、6カ月連続で前月比プラスを維持しています。変動の大きい輸送設備を除いた耐久財受注（同+1.3%）、コア資本財（同+0.7%）も6カ月連続で前月比プラスとなっています。

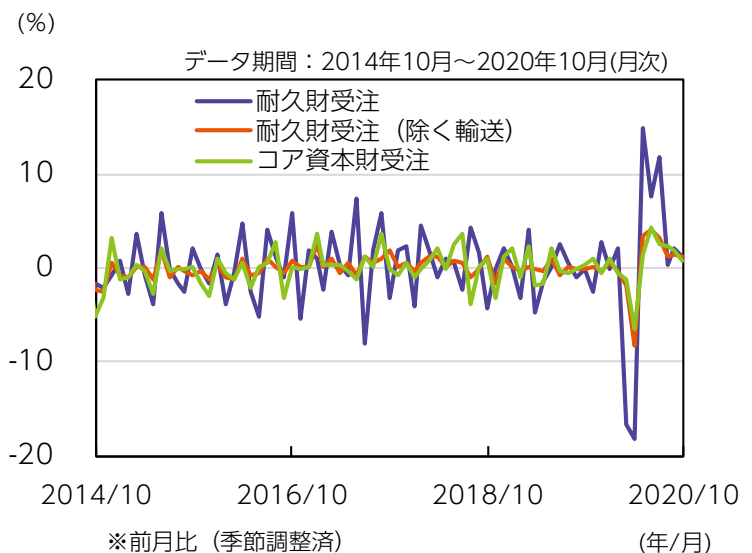
耐久財受注額を品目別で見ると、コンピューター・電子製品受注額が在宅勤務の増加などを背景に順調に推移しています（図表2）。

今後企業が設備投資を一服させる可能性も

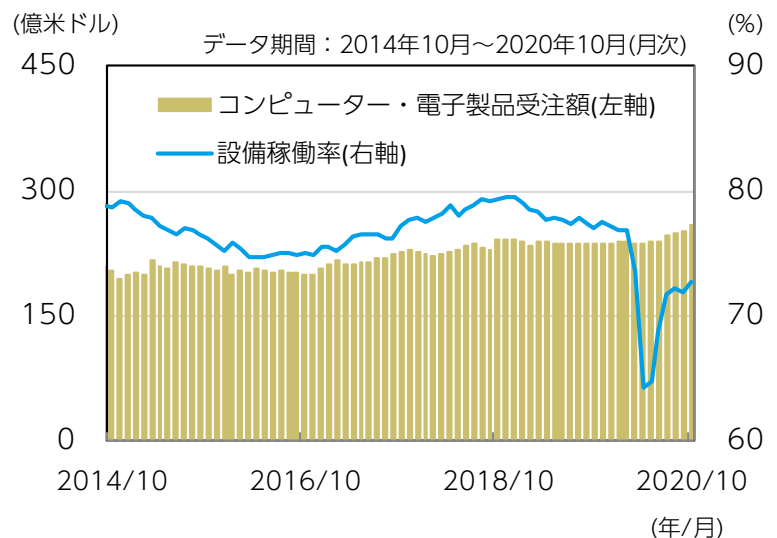
今回の結果からは設備投資意欲の改善がうかがえます。しかし、米国企業の生産能力に対する実際の生産量の比率を表す設備稼働率はデータが確認できる1967年以降の最低値である64.2%を4月に記録して以降、未だ新型コロナウイルス流行前の水準まで回復していません（図表2）。

ワクチン開発への期待から市場では景気の先行きに強気な見方が増えており、企業の設備投資も堅調に推移することが期待されます。ただし、足元の依然として低水準の設備稼働率を鑑みれば、設備投資の改善も足踏みすることが考えられます。

図表1：耐久財受注は6カ月連続で前月比プラス



図表2：設備稼働率は依然として低水準



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>